

令和2年度 教科等別授業改善推進プラン

武蔵村山市立第二小学校 第6学年

教科等	(1)児童の実態から 特に育成したい能力や態度	(2)指導形態、指導過程及び指導方法等の工夫 ※学力向上の具体的な手だてを示す
国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えが明確に読み手に伝わるよう内容を整理し、筋道立てて書くことができるようにする。 目的や意図に応じて必要な事柄を読み取る力を付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章の仕組みや書き方について学習し、その文章構成に基づいて自分の考えを書く学習をする。 読んだ内容に対する自分の考えをもちながら学習できるようにする。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料を通して情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 社会における課題を把握し、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力や、表現する力を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象の見方・考え方を働かせ、学習の問題を追究・解決する活動を重視する。 社会的事象を多面的・多角的に捉えられるよう、根拠や理由を明確にして説明したり、議論をしたりする場面を設定する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 問題に関心をもち、話し合いながら解決しようとする態度を育てる。 課題解決に言葉や図などを利用し、既習事項を用いて解決しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 身の回りのことに関連付けた課題を設定する。 言葉や図などを用いて課題解決するよう声掛けし、ノートに表現できる時間を確保する。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項と関連付けながら予想し、実験・観察しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 興味・関心をもち学習に取り組めるよう、児童の日常生活と関連付けながら課題提示をする。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に音楽に関わり、協働して活動する態度を育てる。 曲想や曲の構成を理解し、特徴にふさわしい表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童の実態、発達段階や心情を考慮した教材を選択し、歌詞の内容や楽曲の構成を理解して、表現を工夫する。 曲や演奏のよさを見だし、全体を味わって聴いたり、ペアや少人数でお互いの演奏を聴き合ったりする場を設定する。
図画工作	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感じたことを表すために工夫しながら、作り出す喜びを味わおうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 児童が発想したことや工夫したことを大切に、材料や用具と関わる中で、興味・関心を高めながら、児童が自由に発想し、表したいことを見付ける機会を支援する。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身や家族、友達との関わりに関心をもち学習する態度を育てる。 調理や裁縫などの基本的な知識や技能を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習内容が自分の生活と深く関わっていることに気付かせて学習を進めていく。 実習を通して基本的な知識・技能を身に付けさせる。
体育	<ul style="list-style-type: none"> 主運動の時間を確保し、友達と協力しながら互いに技能を高めていこうとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備や片付けを素早くできるように指導する。 タブレットを使って友達の運動の様子を撮影し、それを見ながら技能を高めていけるようにする。
特別の 教科 道徳	<ul style="list-style-type: none"> 自分の経験と関連付けながら道徳的価値について考えようとする態度を育てる。 友達の考えを聞き、様々な価値観を受け入れることができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 導入時に、道徳的価値と関連した日常生活で起き得ることについて児童に話し、自分事として考えることができるようにする。 教師が児童の様々な考えを受け入れて授業を進めていく。
英語 活動	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を使って自分の気持ちを相手に伝えることができるようにする。 アルファベットを4線に正しく書くことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習表現を用いた Small Talk を毎時間行い、友達に自分の気持ちを伝える活動を繰り返す。 アルファベットの大文字・小文字を1文字ずつ書く活動を毎時間取り入れる。
総合的 な学習 の時間	<ul style="list-style-type: none"> 自分の設定した課題の調べ方を自分で考え、調べようとする態度を育てる。 各教科で身に付けた知識や技能などを活用して解決しようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> インターネットや本、インタビューなど様々な調べ方を経験させる。 各教科の学習で、教科横断的に学習を取り入れ、広い視野で物事に取り組む態度を日頃から児童に経験させる。
学級 活動	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちで学級をよりよくしようとする態度を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日頃から児童に学級で必要なこと、取り組みたいことなどを考えさせる機会をつくる。

